

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	<b>Basal cell carcinoma treated with Mohs surgery in Australia III. Perineural invasion</b>	
	論文の日本語タイトル	オーストラリアにおける基底細胞癌に対する Mohs surgery III. 神経周囲浸潤	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し ( 1 )	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCQ18-10	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー/メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究 (コホート研究や症例対照研究) V. 記述研究 (症例報告やケースシリーズ) VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 ( IV )	
	Pubmed ID	16112352	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Journal of the American Academy of Dermatology	
	雑誌 ID		
	巻	53	
	号	3	
	ページ	458-463	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 ( 1 )	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 ( 2 )	
	発行年月	2005	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Leibovitch I	Oculoplastic and Orbital Division, Department of Ophthalmology and Visual Sciences, Royal Adelaide Hospital, University of Adelaide
	その他著者 1	Huilgol C	
	その他著者 2	Selva D	
	その他著者 3	Richards S	
	その他著者 4	Paver R	
	その他著者 5		
その他著者 6			

一次研究の 8 項目	目的	基底細胞癌における神経周囲浸潤の頻度と予後について検討する		
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究		
	セッティング	オーストラリアの大学病院		
	対象者	1993～2002 年の基底細胞癌患者 11127 例		
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず ( 3 )		
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず ( 3 )		
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず ( 22 )		
	介入 (要因曝露)	Mohs surgery (凍結組織法)		
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分	
		1	神経周囲浸潤の有無	1.主要 2.副次 3.その他 ( 1 )
		2	5 年再発率	1.主要 2.副次 3.その他 ( 1 )
		3		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
		4		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
		5		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
	主な結果	283 例 (2.74%) に神経周囲浸潤がみられた。Mohs surgery 後 5 年経過観察できた 78 例のうち、6 例 (7.7%) に再発を認めた。神経周囲浸潤の発現に有意に影響する因子は、組織型、腫瘍径、切除後の欠損径、Mohs ステージ数であった。		
	結論	神経周囲浸潤はまれな現象ではあるが、再発リスクが高い。		
	備考			
レビューワーコメント	レビューワー氏名	竹之内辰也		
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 ( IV )		